

# 令和2年度 公益財団法人焼津市振興公社事業報告

## 1. 総括事項

公益財団法人焼津市振興公社は、定款第3条の目的を達成するため、令和2年度において概ね次のような事業を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、焼津市の指示により、両文化会館が4/21～5/20、天文科学館が4/9～5/31の間、臨時休館となりました。再開後も、新型コロナウイルス流行の影響を受け、中止又は延期になる事業が相次ぐ中、感染症対策ガイドラインを遵守する等感染対策を行いながら、可能な範囲で開催できる事業を選定し、実施しました。

### (1) 地域文化の振興（公益目的事業）

焼津文化会館及び大井川文化会館ミュージコでは、指定管理業務受託2年度目を迎え、市文化振興計画に基づき、国内外の優れた芸術文化の鑑賞機会を広く市民に提供するとともに、市民の芸術文化活動を支援するため芸術文化事業を鑑賞型、市民参加型、普及・協働型と位置づけ、バランスよく実施しました。

事業の実施については、市民の要求と経済性を考慮した上で良質な事業を企画しました。新型コロナウイルスの影響で、47本の事業を中止としましたが、他の団体・機関との共催を含め38本（焼津27本・大井川11本）の芸術文化事業を行い、多くの市民の鑑賞・協力・参加を得て、好評を博しました。個別事業内容については、焼津文化会館分27～28ページ、大井川文化会館ミュージコ分は32ページに記載いたしました。

芸術文化事業の公演情報を広く周知するため、焼津文化会館・大井川文化会館ミュージコ統一情報紙「いべにゅ」を志太・榛原地区を中心に新聞折込にて毎月1回発行しました。開催イベント数が減ったため、昨年度よりページ数を減らしての発行となりました。

#### 1 鑑賞型

国内外の優れたクラシック、芸能・演芸、ポピュラーなど多彩な事業を展開しました。

芸能・演芸では、「DRUM TAO」「人形浄瑠璃 文楽」等を開催しました。

ポピュラーでは、「杉山清貴」「三山ひろしコンサート」等を開催しました。

#### 2 市民参加型

市民の文化活動の促進と地域文化の活性化を図るため、ワークショップや市民自らが公演に参加・出演する事業を展開しました。

「焼津市民文化祭」「憧れのステージでピアノを弾こう！」「初めてのマジック教室 in 焼津」等や野外での「夏！ファンタジアタイムY A I Z U」「ドライブスルー in おおいがわ」等を開催しました。毎年恒例の「ミュージコ吹奏楽フェスティバル」と「ミュージコピアノマラソン」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としましたが、ボランティア団体サポートクラブの協力による「ロビーコンサート」は開催しました。

### 3 普及・協働型

普及を目的に無料講座、無料公演など市民に広く芸術文化に親しんでいただく事業を展開しました。

芸能演芸では、「人形浄瑠璃 文楽事前レクチャー」「大井川寄席」等を開催しました。

ポピュラーでは、「スギテツ“新春”音楽会」「0歳前から乳幼児へ贈る」等を開催しました。

天文科学館においては、利用者に充実した科学教育の機会を提供し、天文や科学に対する興味・関心を高めることを心掛けた事業展開に努めました。個別の事業内容については、36～38 ページに記載いたしました。

#### 1 学校連携事業

利用団体（小中学校）の希望を受け、科学工作を体験できる「わくわくワークショップ」13件、学校の希望に応じた出張講座を13件実施したほか、総合学習4件5人を受け入れました。また、「宇宙の日」全国小中学校作文絵画コンテスト（絵画の部）では、389点の応募があり、科学館表彰式並びに応募作品の展示を行いました。

#### 2 児童生徒への理科支援事業

結成4年目となる「日本宇宙少年団焼津分団」は、昨年度より規模を縮小し、12人の団員により年間7回の活動を行いました。また、毎年好評を得ていた「小学生のための星空教室」や「夏休みの理科自由研究相談会」及び「子ども宇宙教室」は中止しました。

また、学習指導要領改訂に合わせて実施している「ロボットをプログラムしよう！」は、今年度も定員を上回る応募があり、感染対策を十分行いながら参加者には満足度が高い体験ができるよう努めました。

静岡大学との共催で、昨年度に続いて開催した「静岡STEMアカデミー in 焼津」では、科学・技術・工学・数学を軸として、児童・生徒の理工学分野への興味・関心、探究心を高めるとともに、研究活動への取り組みや課題解決のプロセスを学べる場を引き続き提供することに努めました。

#### 3 生涯学習支援事業

4年目を迎えた星空案内人資格認定講座「大人のための天文教室+（プラス）」は、参加者を県内居住者に限定し、星空案内人5人、準案内人12人の資格認定を行いました。また、昨年12月に帰還し、話題となったはやぶさ2のプロジェクトマネージャー津田雄一氏を講師にリモートで行った「天文科学講演会」では、天文や宇宙に高い関心を持つ多くの参加者から好評をいただきました。さらに、初めて開催したプラネタリウムワークショップでは、番組制作・操作・投影を体験しながら星空やプラネタリウムに興味・関心を深める機会を提供しました。

#### 4 天文台事業

今年度は部分日食と火星の接近がありましたが、特別観望会はそれぞれ感染防止と天候

不良のため中止となりました。「部分日食」や「木星と土星の大接近」については、YouTubeによるライブ配信を行い、大変多くの視聴回数を得ました。毎週土日の夜の星空観望会では、感染防止のため、底に透明フィルムを貼った紙コップを使って望遠鏡を覗く方法で実施しました。

## 5 プラネタリウム事業

「生解説プラネタリウム」では、太陽系を巡りながら子供たちにとって身近な惑星について紹介する「太陽系大冒険」や全国的に話題になった小惑星探査機はやぶさ2の成果や最新の情報を紹介する「はやぶさ2 小惑星リュウグウからの帰還」など3本の番組を投影しました。また、高精細CG投影機を活用した「CGドームシアター」では、学校長期休業期間や土日祝日に子供たちに人気のアニメ番組を投影するとともに、大人を中心とした利用者層には「CGドームシアター・ヒーリング」の投影枠にDREAMS COME TRUEや葉加瀬太郎の音楽に乗せた番組を投影し、好評を得ました。

さらに、特別番組として「春宙 星空に響く二胡の調べ Vol.6」や「大爆笑！星兄 プラネタリウムショー」など、様々な切り口から天文に触れる機会の提供に努めました。「団体投影」では、新型コロナウイルスの影響で学校団体を中心に利用が減少し、前年度の約半数の団体数に留まりました。

## 6 展示・体験室事業

期間を定め、テーマを変えて「きみはメダルをとれるか！おもしろスポーツ大会」（形態を変更して2期にわたって実施）、「探検宝島 ～メカメカ島の秘宝をさがせ！～」、「カガクのあそび王国」の4本の特別展を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、土日祝日は1時間ごとの入替制で実施しました。

## 7 情報発信事業

情報紙「DISCOVERY」を年4回発行し、市内及び近隣市町の全小学生等に配布しました。また、季節ごとに制作するプラネタリウムパンフレットには、投影する番組や星図を掲載し、わかり易さと内容の充実を図りました。

さらに、ホームページ、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックにより、運営情報や天文科学情報、そして自宅でも楽しめる工作レシピや天文現象のライブ中継などの発信にも努めました。

### (2) 公の施設等の管理運営の受託（公益目的事業、収益事業）

焼津市の文化芸術の拠点施設である文化センターの施設管理と焼津、大井川両文化会館の運営、天文科学館の管理運営、ディスカバリーパーク焼津内の公園・広場の維持管理を受託しました。

両文化会館及び天文科学館の施設運営につきましては、市民の様々な要求と期待に添うことができるよう、複合施設としての機能を生かすとともに、コロナ禍にあっても弾力的、効果的な運営に努めました。年間利用者は、焼津文化会館では50,549人、大井川文化会館

では、17,758人、天文科学館では、58,587人となり、三館とも昨年度から大きく減少しました。

館別利用者数については、焼津文化会館が29～31ページ、大井川文化会館が33～35ページ、天文科学館が39～40ページに記載いたしました。

ディスカバリーパーク焼津の公園においては、樹木・芝の定期的な手入れや、公園清掃を実施しました。また、中央駐車場においては、冠水抑制のための集水桝設置や劣化した案内看板の修繕などを行いました。

### (3) 物品販売事業（収益事業）

公社の安定財源確保のため、管理施設内の自動販売機20台による飲料等の販売及び天文科学館の売店にて天文グッズ等の販売を実施しました。

自動販売機については、屋内外に設置することで来館者の利便性向上を図りました。

また、天文科学館の売店については、特別展等のタイアップ商品をはじめ、星座早見や組み立て望遠鏡、実験キットなど天文・科学への興味を喚起する商品や学習に役立つ書籍等を取り扱うことで事業との相乗効果を図りました。

新型コロナウイルス感染症流行の影響による利用者減少のため、売上は大きく減少しました。

<附属明細書の作成について>

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附則明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。